

1 運営方針

②図書館評価

図書館評価について

さいたま市図書館ビジョンの4つの基本的方向性を評価の目標として、令和6年度の指標と目標値を設定しています。

令和6年度目標、指標及び目標値

基本的方向性 1 知りたいにこたえる

目標	指標	目標値
(1)レファレンスサービスの充実による市民の課題解決の支援	レファレンス受付件数	134,000件
	知識の獲得に対する図書館資料の貢献度	3.87ポイント
	課題解決に対する図書館資料の貢献度	3.63ポイント
(2)市民の課題解決に役立てられる資料の提供	新しいチャレンジに対する図書館資料の貢献度	3.71ポイント
	個人的な楽しみに対する図書館資料の貢献度	3.92ポイント
(3)図書館利用に障害のある方への支援	バリアフリー資料の所蔵数	25,200点
(4)専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上	図書館専門研修の実施・派遣回数	320回
(5)図書館評価と市民意識の反映	利用者満足度	92.5%

基本的方向性 2 本と人とをつなげる

目標	指標	目標値
(1)市民の多様な要求にこたえる資料の充実	蔵書新鮮度	3.38%
(2)情報発信による図書館利用の促進	貸出総数	9,908,000点
(3)講座等の催しと市民の交流の場の提供	講座等の満足度	91.5%
(4)資料の紹介による本との出会いの創出	テーマ資料展示の実施回数	945回
(5)安全で快適な環境の整備	防災・消防訓練の実施回数	47回

基本的方向性 3 子どもの豊かな心と生きる力をはぐくむ

目標	指標	目標値
(1)子どもの世界をひろげる資料の紹介	子ども向けブックリストの作成数	51点
(2)子どもが本に親しむ機会の提供	おはなし会の開催回数	1,120回
	読書が好きな子どもの割合(小学生)	84.0%
(3)家庭・学校等との連携による子どもの読書活動への支援	読書が好きな子どもの割合(中学生)	75.0%
	読書が好きな子どもの割合(高校生)	84.2%

基本的方向性 4 つながりから地域の未来をひらく

目標	指標	目標値
(1)地域の歴史と文化の保存	地域・行政資料の蔵書数	174,200冊
(2)市民との協働による地域交流の活性化と永続的な交流の場の提供	ボランティアとの協働事業数	118事業
(3)市の各部署との連携による市民生活の向上	さいたま市との連携部署数	33部署
(4)県・他自治体・民間等との連携による市民の知的活動への支援	さいたま市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関数	24機関

②図書館評価

令和4年度図書館評価一覧 『令和5年度さいたま市図書館評価報告書（令和4年度事業対象）』より

目 標		評価	指 標	達成率
1 知 り た い に こ た え る	(1) レファレンスサービスの充実による市民の課題解決の支援	C	レファレンス受付件数	62%
	(2) 市民の課題解決に役立てられる資料の提供	A	・知識の獲得に対する図書館資料の貢献度 ・課題解決に対する図書館資料の貢献度 ・新しいチャレンジに対する図書館資料の貢献度 ・個人的な楽しみに対する図書館資料の貢献度	101% 101% 100% 100%
	(3) 図書館利用に障害のある方への支援	B	バリアフリー資料の所蔵数(録音図書、点字図書、点訳絵本、大活字本、朗読CD、LLブック)	96%
	(4) 専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上	A	図書館専門研修の実施・派遣回数	118%
	(5) 図書館評価と市民意識の反映	A	利用者満足度	100%
2 本 と 人 と を つ な げ る	(1) 市民の多様な要求にこたえる資料の充実	C	蔵書新鮮度	79%
	(2) 情報発信による図書館利用の促進	B	貸出総数	94%
	(3) 講座等の催しと市民の交流の場の提供	A	講座等の満足度	107%
	(4) 資料の紹介による本との出会いの創出	B	テーマ資料展示の実施回数	87%
	(5) 安全で快適な環境の整備	A	防災・消防訓練の実施回数	112%
3 は 心 子 ぐ と ど く 生 も む き の る 豊 力 か を な	(1) 子どもの世界をひろげる資料の紹介	A	子ども向けブックリストの作成数	144%
	(2) 子どもが本に親しむ機会の提供	B	おはなし会の開催回数	84%
	(3) 家庭・学校等との連携による子どもの読書活動への支援	B	・読書が好きな子どもの割合(小学生) ・読書が好きな子どもの割合(中学生) ・読書が好きな子どもの割合(高校生)	98% 98% 89%
4 地 つ 域 な の が 未 り 来 か を ら ひ ら く	(1) 地域の歴史と文化の保存	B	地域・行政資料の蔵書数	96%
	(2) 市民との協働による地域交流の活性化と永続的な交流の場の提供	C	ボランティアとの協働事業数	69%
	(3) 市の各部署との連携による市民生活の向上	A	さいたま市との連携部署数	206%
	(4) 県・他自治体・民間等との連携による市民の知的活動への支援	A	さいたま市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関数	165%

評価基準

A—達成した

B—ほぼ達成した

C—あまり達成できなかった

D—達成できなかった